

# し そう し いちの みやちよう ぬけやまでんせつ 宍粟市一宮町に つたわる抜山伝説

## 題材のねらい

過去の災害に学び、防災に関連した地域のできごとを調べたり、減災・防災に取り組もうとする意欲を育てる。

## 指導にあたって

「抜山」と呼ばれる山の山崩れでは、なぜ被害を最小限にとどめることができたかを考えさせ、土地の名前、その由来について興味を持たせる。



- ★ 昔の人の知恵について知る。例えば、「抜山」という名前は、山がよく抜ける（地滑り、土砂崩れ、土石流等）からその名がついた。自分たちの地域に、そのような名前の地名はないか、地域の人にインタビュー等をして調べてみるのもよい。
- ★ 危険を察知したら、迷わず避難行動をとる。「率先避難者になれ」ということが言われている。避難をして損はない、避難して何もなかったら、運が良かったと考えられるくらいの気持ちが大切。普段からの地域の結びつきの強さが、一致した避難行動につながっていることもおさえない。